

令和7年度

中丸小学校グランドデザイン

＜茨城県総合計画＞
いばらき教育プラン
基本理念
『活力があり、県民が日本一幸せな県』

＜本県教育の目標＞
ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

＜とうかい教育プラン2025＞
教育立村
～まちづくりは人づくり 人づくりは教育から～

＜2025 県学校教育指導方針＞
すべての子どもの可能性を引き出す
活力ある学校づくり

＜本校教育の目標＞
心豊かで創造性に富んだ未来を拓く児童の育成
キャッチフレーズ「花と本と絵のある学校」

＜2025 村学校教育指導方針＞
子どもたち一人ひとりがキラリ輝く
学校づくり



笑顔が○、仲間が○の
中丸小学校

＜目指す児童の姿＞

- 自分も他人も大切にできる**思いやり**のある子
- 勉強も運動も**本気**で取り組む子
- 心身ともに健康で、たくましく**元気**な子



中丸小学校マスコット
なかめるくん
ほんものをつかめ!
運をつかめ!
夢をつかめ!

＜目指す学校の姿＞

- 笑顔と優しさにあふれ居場所と絆を大切に作る学校
- 自主性と創造性に富み常に前進する学校
- 学びにふさわしい学習環境と自然環境が整った学校

＜目指す教師の姿＞

- 子供一人一人を大切に、よさや持ち味を伸ばす教師
- 明るく活力に満ち、人間性豊かな教師
- 指導力の向上、協働意欲（認め合い）のある教師

＜学校経営の基本方針＞

一人一人が輝き すべての子どもの可能性を引き出す
潤いと活力のある学校づくり

～ かかわり合い（認め合い・高め合い）を通して ～

認め合い…………児童どうし、児童と教職員、教職員どうし、学校と地域（保護者）がかかわる場の設定
及び課題解決に向けた探究的な活動の充実（試行錯誤）
高め合い…………結果より過程を大切に、次の課題の発見につながる振り返りの充実（振り返り）

今年度の重点取組事項

- 児童の主体的・探究的な活動の充実を図り、児童一人一人が輝くことができる場の設定
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、児童も教職員も互いを認め合える場の設定
- 安全・安心な学校づくり（基本的な生活習慣の確立と特色ある教育活動の推進）
- 特別な配慮を必要とする児童の社会的自立をうながす指導の充実
- 家庭・地域との連携・協働による信頼される学校づくり

組織目標

「いいね」（認め合い）がいっぱいの学校

知恵を磨く

- ◇児童一人一人の学びの成立
- ◎「なかめるタイム」を積極的に活用した対話的・探究的な学びの充実
- ◎一人一台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・確かな児童理解による個に応じた指導の充実
- ・高学年における教科担任制の充実
- ・力が付く家庭学習の習慣化

心を育む

- ◇豊かな心を育む教育の推進
- ◎場に応じた挨拶と言葉づかい【いつでも どこでも 誰とでも】
- ・読書活動、文化芸術活動の充実
- ・「考え議論する」道徳の充実
- ・確かな児童理解と特別支援教育の充実
- ・人権教育の充実
- ・いじめを許さない学校づくり
- ・花いっぱい運動の推進と学びにふさわしい環境整備（環境教育：ESD 教育の推進）

健やかな体をつくる

- ◇健全な心と体の育成
- ◎基本的な生活習慣の徹底（時間・姿勢・身支度・遊び方）
- ・行事を生かした体力づくりの推進
- ・望ましい食習慣の形成と学校給食の充実、食育の推進
- ・健康で安全な生活を送るための実践力の育成
- ・危険予測・危険回避能力の育成

開かれた学校づくり

- ◇家庭・地域との連携・協働の推進
- ◎地域の人的・物的資源の有効活用（地域施設・人材・バンクの活用）
- ・「コミュニティ・スクール」の推進
- ・教育活動の積極的な情報発信を通じた保護者、地域との連携
- ・こ保幼小中及び関係機関との連携及び協働
- ・学校評価（自己評価・保護者評価）の充実と活用

働き方改革

- ◇教職員が子どもたちと自分自身に真摯に 向き合える教育環境の充実
- ・「働きがい改革」の推進（同僚性とモチベーション）
- ・超過勤務時間の管理と教員評価面談の充実

コンプライアンスの遵守

- ◇風通しのよい職員室経営
- ・コンプライアンス研修の工夫及び充実
- ・何でも話せる教職員の人間関係づくり
- ・互いを認め合える同僚性の向上